


あなたにとって「子育て」とは？

プログラムのねらい

子育て学習のプログラムの導入にあたり、参加者の体験学習の動機づけを高めると同時に、身近な題材の意見交換をすることによって、肩の力を抜いて気軽に取り組めるような雰囲気づくりをします。特にここでは、ネットワークを構築することの重要性を学習します。

【プログラムの展開例】（時間：60分程度）

	○進め方 ○ことばかけ	留 意 点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介します。 ○プログラムのねらいや学習の進め方について説明します。  <ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介やゲームを行い、緊張を和らげたり、参加しやすい雰囲気づくりをします。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己紹介や説明はできるだけ短時間でを行うようにします。 ○今日のプログラムのねらいについて、ポイントをしぼりわかりやすく説明します。 ○参加者に気を配り、ゲームに参加できていない人や戸惑っている人には、明るく声かけをして参加を促します。 ○ゲームなどが終了した時点で、次の活動にスムーズに移れるようグルーピングしておきます。 ○1グループにつき5~6人（全体の人数が少ない場合は3~4人）を目安に編成します。 ○なるべくさまざまな年齢層の子どもの親の構成になるようにします。 ○導入で時間を取りすぎると展開やまとめの時間が少なくなります。あらかじめ時間配分を考えて進めていくようにします。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ◎「ワーク1」の①~⑤について考えたこと、感じていることを書きましょう。 ○グループで意見交換をする時間を設定します。 ○「ワーク1」の⑥について記入し、グループで意見交換する時間を設定します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○答えに「正しい」、「間違っている」ということはないので、気楽に答えるように話します。 ○イメージは走り書き程度のメモでよいことも伝えます。 ○子どもを育てることは大変な面がありますが、同時に大きな喜びがあることを押さえておきます。 ○話し合った内容をまとめてもらい、グループごとに発表してもらおうことをあらかじめ知らせておきます。 ○望ましい子育てのあり方ばかりではなく、自分（の家庭）なりの子育てのヒントが見つかればよいことを話します。

	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワーク2」の活動を説明します。 ○グループで出された意見と自分の意見を比較する時間を設定します。 ◎親として、今どんなことを知りたいか、また、当時「こんなことを知っていたらなおよかった」ことについて意見交換をしましょう。 ○「ワーク3」の活動について説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワーク1の①～⑤と同じ展開で進めます。 ○悩みについては、多くの人に共通するものから、個人的なものまで多岐にわたることをつかんでおきます。 ○悩みの種類によって、親同士が情報交換をすることがよい場合と専門家に相談した方がよい場合があることを話します。 ○資料を参考にしながら、親同士の情報交換や専門機関や専門家、身近な子育て支援の仕組みや、育児書や育児番組、インターネットの利用などの可能性について助言します。 ○意見交換が、子育てのヒントや自己の成長につながることを助言し、発言を促します。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ◎今日の学習のまとめをしましょう。 ○参加者一人一人に今日の学習を通して考えたことや感想を書いてもらいます。 (ふりかえり) ○発表してもらいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習を振り返り、特に印象に残ったことを中心に書くように話します。 ○あらかじめ、数人の方に感想を発表してもらうようお願いしておきます。 ○発表を共感的に受け止め、発表に対して手短かにコメントします。 ○子を持つ親にとって、子育てに戸惑いや不安はつきもの。一人で悩まず、いろいろな方法で情報を得ることができること、そして、その情報を取捨選択して上手に活用することの必要性を話しまとめます。

※ 設定時間が短い場合には、ワーク2を中心に流れを考えるようにします。